

# 青森県立保健大学 看護学科 地域定着枠（キャリア形成支援枠）入試について

住み慣れた地域でずっと暮らせるよう、地域全体での支えが必要です。こういった現在の保健医療体制に“強い”看護師を育成するため、地域定着枠（キャリア形成支援枠）を新設し、令和2年度から募集を開始します。地域の課題に愛を持って真剣に向き合うことができる学生を求めます。

## なぜ『地域定着枠（キャリア形成支援枠）』が必要と考えたのでしょうか？

病気になったり不自由になった方を住み慣れた地域全体で支え、急な症状悪化への処置や手術を行う急性期の病院、その後の療養やリハビリを行うリハビリ病院や、病気の推移を見守る病院や診療所、在宅看護などが連携して患者さんを支える仕組みが求められています。これらの連携が上手く機能するには、**それぞれの場を知って、コーディネートする役割**がたいへん重要になります。

病気になった...身体が不自由になった...

- 住み慣れた地域でずっと暮らせる！
- 専門性の高い病院で、疾患に合った医療や看護が受けられる！
- 住み慣れた自宅で療養できる！

このような目的があって、地域全体で患者さんを支える連携ですが、一方で課題も浮き彫りになりました。それぞれの病院の機能や在宅療養についてよく知って、患者と医療を上手に結びつけるナースが必要なのです。

### 地域全体で支える



#### 課題（患者や家族）

- 病気になったのに、病院をたくさん移らなければならなくて心配
- 今どうなるかわからないのに、この病院には長く居られないって言われる
- 近所の病院でずっと見てくれないの？

なんとかしてほしい・・・

#### 課題（ナースや医療者）

- どこで療養しても、患者さんの心配事や、ケアの仕方がつながるには、どうする？
- 住み慣れた自宅でも療養・看護を受けられるし、それが幸せだということが伝わらない

なんとかしなければ・・・



それぞれの病院の機能を知りつくした、地域全体がわかるナースが必要  
そんな看護職をめざしたい人に地域定着枠（キャリア形成支援枠）があります

## 地域に強い保健医療職を育成するために青森県立保健大学では

看護学実習、在宅看護学といった資格を取得するために必要な科目に加え、ヘルスリテラシー科目群を設け、地域での多職種連携を強化したカリキュラムを組んでいます。



それぞれの学科が根をはる土が大学と地域。1人1人が木が大きく育つと豊かな森になることを表しています。

地域全体がわかるナースになるためには  
卒業後のキャリアアップも必要

# 地域定着枠（キャリア形成支援枠）で入学したら、どんな支援が受けられる？

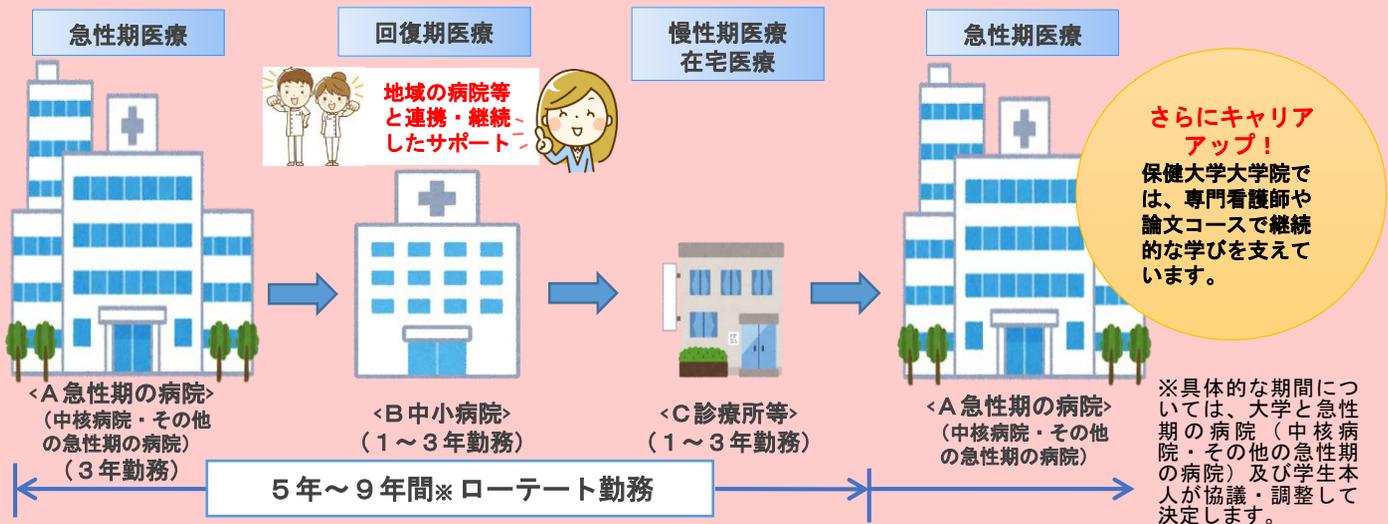
## <学生時代>



学生の意向を踏まえ、地域の病院等と相談しながら、キャリアをサポートするプログラムを作ります。

## <就職後>

「急性期」の病院（中核病院・その他の急性期の病院）を拠点に、「回復期」の中小病院、「慢性期・在宅医療」の診療所等を一定期間ローテート勤務して、これからの時代に活躍する看護職員として、総合力・実践力の修得、キャリア形成ができます。



**地域への愛着を持って、真に地域を支えられるナースに育てます！！**

## 入試情報

学部／学科	健康科学部／看護学科
募集人員	県内者(※) 5名 ※青森県内の高等学校を令和3年3月に卒業見込みの者で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前(令和元年11月9日)から引き続き青森県内に住所を有する者とする。
出願資格	次の各号のいずれにも該当し、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校を令和3年3月卒業見込みの者 (2) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 (3) 将来、青森県内で看護職者として従事しようとする強い意志を持ち、入学後に、本人の意向等を踏まえて調整し、作成する「地域活躍・定着ナースキャリアサポートプログラム(仮称)」に参加する意志を確約書として提出できる者 (4) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者
選抜方法等	①小論文、②志望理由書、③高校での学びを振り返る作文、④面接、プレゼンテーション、⑤調査書

入試情報の詳細については、本学ホームページ <https://www.auhw.ac.jp/> をご確認ください。

### 【お問合せ】

青森県立保健大学 キャリア開発・研究推進課

TEL 017-765-4085 [メール] [c\\_teichaku@auhw.ac.jp](mailto:c_teichaku@auhw.ac.jp)